

リオ 2016 パラリンピック競技大会

応援
しよう！

車イス陸上競技
樋口政幸選手
(豊科)

市内豊科在住で車イス陸上競技の国内第一人者、樋口政幸選手が、ブラジル・リオデジャネイロで開催する2016 リオ・パラリンピック日本代表として出場が決まり、出発前の7月6日、宮澤市長を表敬訪問しました。宮澤市長は「練習の成果を十二分に発揮してほしい」と激励しました。



壮行会の様子

また、8月6日には穂高納涼祭会場で壮行会が行われました。会場では大会での活躍を願い、市民の皆さんの応援メッセージ記した日章旗が樋口選手に手渡されました。4年前のロンドン大会出場以降、トラック競技に専念し、トレーニングを重ねてきた樋口選手は「勝敗はコンマ数秒の世界。安曇野市の代表としてメダルに絡むようがんばりたい」と意気込みを話しました。樋口選手は、800メートル、1,500メートル、5,000メートルの3種目に出場予定で、同種目での日本人選手大会初メダル獲得を目指します。

災害時に自分の身を守るため、「どこでも」「誰でも」「気軽に」参加できるシェイクアウト訓練に参加しませんか。

●日時 9月4日(日)午前7時から
●内容 下記の情報配信手段から訓練情報を市内全域に発信します。その際、3つの安全行動を約1分間各自で行ってください。あわせて各家庭で防災対策の再点検をしましょう。

●申し込み 事前登録制です。詳細は7月20日発行の広報あ

デジタル同報系防災行政無線の屋外スピーカーからサイレンと訓練放送が最大音量で流れますのでご理解とご協力をお願いします。



づみの、市ホームページ、または危機管理課へお問い合わせください。

情報配信手段

デジタル同報系 防災行政無線	屋外スピーカーよりサイレン及び最大音量で放送します。
市メール配信 サービス	事前登録者にメール配信します。
あづみ野エフエム	事前にエフエムラジオの電源を入れ76.1MHzに合わせてください。
あづみ野テレビ	契約者宅テレビにLアラート(帯状の字幕)により流します。
市公式ツイッター	安曇野市ホームページ上のツイッターに掲載します。

3つの安全行動



①その場でしゃがみ、姿勢を低くします



②机の下などに潜り、頭を守ります



③揺れが収まるまで待ちます

地震災害を想定 災害時の実践的な訓練と 相互協力体制を確認

9月は防災月間 災害に強いまちへ 市総合防災訓練

日時 9月4日(日) 午前7時～11時30分ころ(雨天決行)

場所 市営県民豊科運動広場一帯(豊科南穂高)

防災月間に合わせて、災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、市総合防災訓練を行います。各家庭や地域でも訓練で自分の命は自分で守る「自助」、地域で協力して助け合う「共助」の力を高めましょう。

問 危機管理課危機管理担当 (TEL 71・2119 FAX 72・6739)

地震災害を想定 災害時の実践的な訓練と 相互協力体制を確認

訓練概要

地震による災害を想定して、市内の自主防災組織代表者による実践的な訓練と防災関係機関相互の協力体制を確認します。

訓練見学・体験コーナー

当日は、訓練を見学することが出来ます。また、体験コーナーなどを設置しますのでお出掛けください。

①体験コーナー

子ども用消防服の試着ができる放水体験コーナー

②消防・警察・自衛隊等の特殊車両展示

③災害派遣時のパネル展示

④非常食の試食コーナー

●交通規制・駐車場

当日は市営県民豊科運動広場周辺において一部交通規制があります。また、訓練会場周辺の駐車場は台数に限りがありますので現場の指示に従ってください。

防災講演会



講師の平松さん

豪雨・土砂災害から生き残るには

防災講演会(市主催)が7月9日、穂高会館講堂で行われました。当日は、信州大学農学部教授で信州大学地域防災減災センター副所長の平松晋也さんが「豪雨災害、土砂災害を回避し、生き残るための方法」と題し講演しました。

平松さんは、市の防災マップや動画などを使い土石流や地滑りの仕組みなどについて解説。安曇野市をはじめ県内は土砂災害が発生しやすい地形で、災害から身を守るためには、防災マップを活用し、危険箇所を確認することが大切だと話しました。併せて日ごろから自宅周辺の地形を観察し、災害の予兆を察知する感覚を養い「異変を感じたら早めに避難することが重要だ」と会場に呼び掛けました。また、避難にあたっては「身近な地域や各家庭の実情に合わせた防災マップを作成しよう」とアドバイスしました。

会場では、自主防災組織や消防団関係者など約250人が熱心に聴講していました。